

中心市街地活性化における まちづくり懇談会



令和元年7月1日

～ 目 次 ～

(1) 「風格ある県都を目指すまちづくり構想」を踏まえた取り組みについて

- ① 「風格ある県都を目指すまちづくり構想」について
- ② 「まちづくり構想」策定後の取り組みについて
- ③ 「第6次福島市総合計画」について
- ④ 「第3期中活計画」策定の取り組みについて
- ⑤ 「福島駅周辺シティドレッシング」などについて
オリパラ関連、古閑裕而のまち
まちなか交流スペース、街なか広場 など

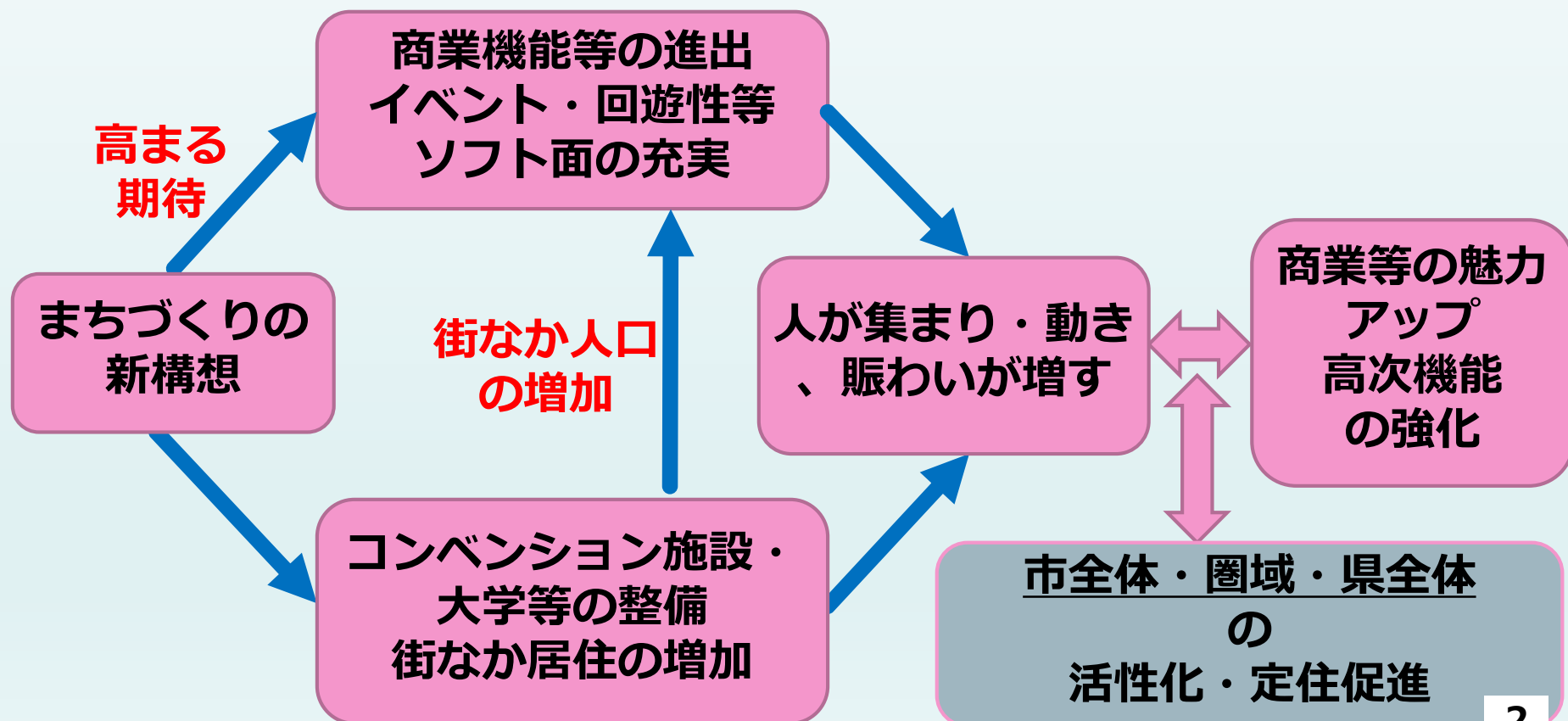
(2) 福島駅東口地区市街地再開発事業の概要について

(参考) 第2期中活計画事業概要

◆ 風格ある県都を目指すまちづくり構想とは

中心市街地における将来ビジョンや公共施設の再編整備に関するランドデザインとして、**基本的な方向性を示すもの**です。

◆ 風格ある県都を目指すまちづくり構想の狙い



◆ 中心市街地における諸課題

○ 公共施設の老朽化

- ・ 公会堂（築59年、休館中）
- ・ 図書館（築59年）
- ・ 中央学習センター（築59年）
- ・ 市民会館（築47年）
- ・ 消防本部・福島消防署（築47年）
- ・ その他

○ 市役所本庁舎西棟の建設延期

○ 人口減少、少子高齢化の進展

○ 中心市街地の空洞化

- ・ 商店街の減少
- ・ 中合式番館の閉館
- ・ 居住人口の減少 等

○ 駅前再開発の動き

○ サッカースタジアムの動き

○ 新東西自由通路の検討



一方、本市が新しいステージへ飛躍する絶好の機会

- ① 東北中央自動車道の開通
- ② 東京2020オリンピック・パラリンピック開催 など

中心市街地における将来ビジョンや
公共施設の再編整備の方向性の検討

◆老朽化した公共施設等位置図など

市民会館（築47年：年間利用者約19万人）



福島消防本部/福島消防署
（築47年）



市役所本庁舎東棟

市役所本庁舎西棟予定地

中央学習センター（築59年：年間利用者約5万人）



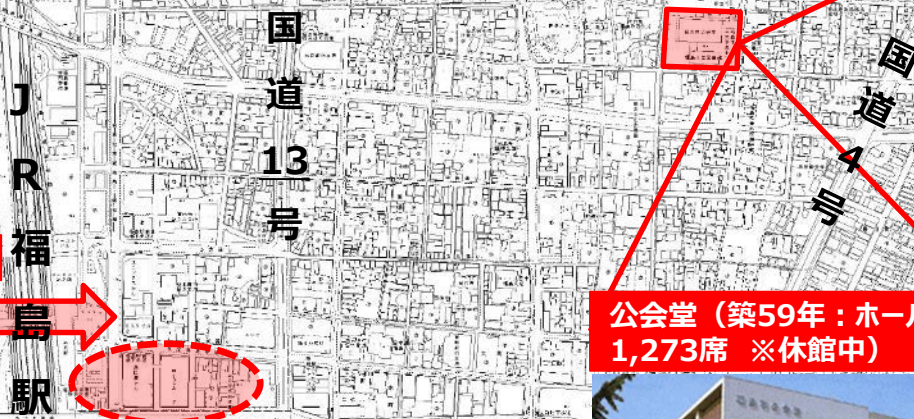
公会堂（築59年：ホール1,273席 ※休館中）

図書館本館（築59年：年間利用者約6.8万人）

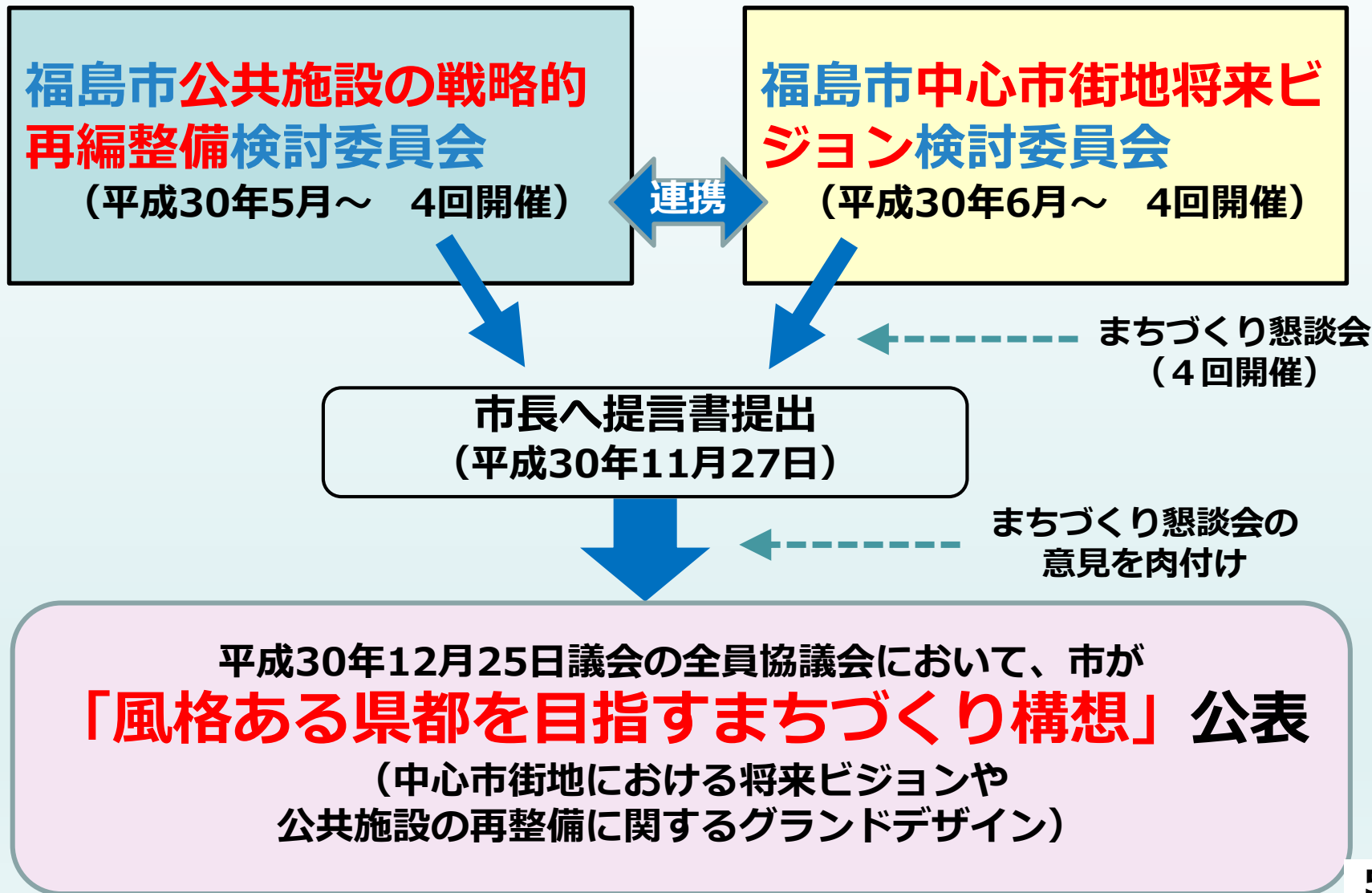


※東口駅前再開発事業予定地

サッカースタジアム



◆ 昨年、有識者などの委員による官民合同の 2つの検討委員会による検討



(1) 「風格ある県都を目指すまちづくり構想」を踏まえた取組みについて

① 風格ある県都を目指すまちづくり構想について

■ 中心市街地におけるまちづくりの基本的な考え方

○本市は未だ復興道半ばにありますが、一方で、東北中央自動車道の開通や、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催など、新しいステージへ飛躍する**絶好のチャンス**が訪れています。

○この機に、**中心市街地を県都にふさわしい魅力あふれる広域的な拠点**とし、**県北全体さらには県下全体に貢献できる風格ある県都をめざしたまちづくりを進めていく必要**があります。

○そのため、民間との連携を図りながら次の**5つの基本方針**に基づきまちづくりを推進します。

◆ 5つの基本方針

(1) 広域的な拠点地区として活力のあるまちづくりを推進します

○首都圏などからのアクセスが良く、観光資源などに恵まれた**本市の強みを生かして**、県都及び福島圏域の拠点地区にふさわしい、圏域内の他地域とは差別化される**高次の都市機能**（商業・業務・コンベンション・医療・教育・文化・交流など）の**集積・強化**を図ります。

(2) 魅力的で賑わいのあるまちづくりを推進します

○高次の都市機能の集積に加えて、**花や音楽など本市の個性を生かした文化的で美しい街並みを形成**するとともに、多様なイベントなどソフト面の充実を図り、**魅力的で賑わいのあるまちづくりを推進**します。

○また、花見山や信夫山、荒川などの自然、福島城下の歴史的遺産などの文化資産、福島競馬場など本市の**観光資源を活用し、街なか観光を推進**します。

(3) まちを楽しみ、すごせるシンボル軸・回遊空間 づくりを推進します

○駅前通りを中心部における東西のシンボル軸として形成するとともに、シンボル軸から派生する南北の各ストリートなどをイベントストリートとしても利用できるような道路や歩行空間などを整備し、**回遊性の強化**を図ります。

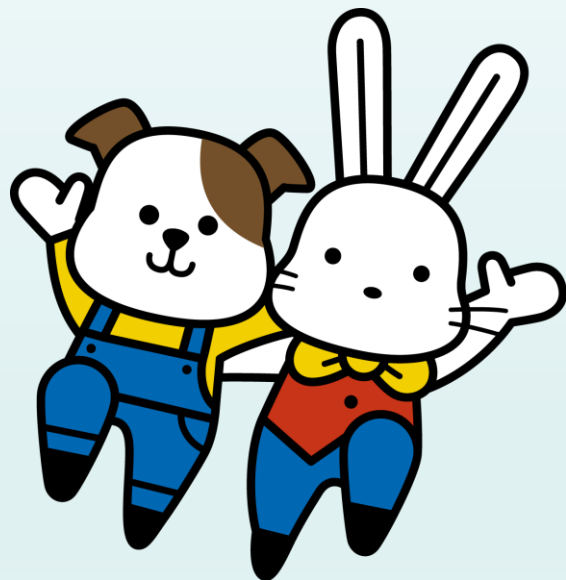
(4) 快適で住みやすいコンパクトなまちづくりを 推進します

○**バリアフリーな環境づくり**に努めるとともに、生活に必要な都市機能を確保し、**街なか居住を推進**します。

○また、高齢者などに配慮し、街なかでの移動や街なかと郊外部間の**公共交通手段の充実**に努めるとともに、必要な駐車場は確保しつつ、パーク&バスライドによる移動を模索します。

(5) みんなが参画し、連携するまちづくりを推進します

- 民・産・学などとの連携により、ともに自らのまちについて考え、それぞれの役割を担うオールふくしまによるまちづくりを推進します。



◆ 都市機能などの強化に**重点的に取り組むエリア**

○今後のまちづくりにおいては、**公共投資の効率化や重点化が必要**となります。

○広域利用向けの都市機能が集積している **「福島駅前周辺エリア」**と、

多くの行政機能・市民利用向けの機能が集積している **「市役所周辺エリア」**を**重点的に機能強化すべきエリア**と位置づけます。

○公共施設も含めた交流・集客拠点の整備や多様な都市機能の集積・強化に向けて、**民間との連携**を図りながら、まちづくりを推進していきます。

風格ある県都を目指すまちづくり構想

■ 基本的な考え方 ■

県北全体さらには県下全体に貢献できる風格ある県都を目指し、以下の5つを基本方針にまちづくりを推進します。

- (1) 広域的な拠点地区として活力のあるまちづくりを推進します
- (2) 魅力的で賑わいのあるまちづくりを推進します
- (3) まちを築き、すごせるシンボル軸・回遊空間づくりを推進します
- (4) 快適で住みやすいコンパクトなまちづくりを推進します
- (5) みんなが参画し、連携するまちづくりを推進します



福島駅前周辺エリア

・ふくまの顔づくり
賑わいの形成
・東京2020オリムピックパラリンピック開催を契機としたシティドレッシング

新東西自由道路
→中長期的な検討課題
調査研究の継続

イベント施設(公会堂+市民会館)
→福島駅東口地区市街地再開発事業(仮称)と連携し再開発予定地内に整備

市役所周辺エリア

新しい市役所本庁舎西棟
→市民会館の機能(施設近隣者利用)、中央学習センターの機能、歌者センターの機能を複合化

図書館本館
→基本的なコンセプト、適地等の検討

◆福島駅前周辺エリア

(1) 官民連携によるコンベンション機能の強化

公会堂の機能及び市民会館の機能（近隣利用者向けの会議室機能などを除く）の統合化により、コンベンション機能を強化し、新たな集客・交流拠点として、福島駅東口地区市街地再開発事業（仮称）と連携し、再開発予定地内でのコンベンションホールなどの整備を目指します。また、会議室機能の一部やバンケット機能、宿泊機能などについては、再開発等において民間活力による整備を期待します。

(2) シンボル軸及び回遊性の強化

福島駅周辺エリアの東西シンボル軸、南北の各ストリートなどにおいて、花や音楽など、本市の個性を生かしながら、文化的で美しい街並みや歩行空間を形成し、回遊性の強化を図ります。

また、多様なイベントが開催される賑わいの拠点として新まちなか広場を整備し、旧東口行政サービスコーナーは休憩スペース・市民活動拠点となるまちなか交流スペースとしてリニューアルします

◆市役所周辺エリア

市役所周辺は、行政機関や裁判所などの関係機関が集積するほか、多くの**市民利用機能が集積するエリア**として定着しています。

さらなる市民サービスの向上に向け、公共施設のバリアフリー化や交通アクセスの改善を図るとともに、**市民利用機能・防災機能の集積・強化**を図ります。

(1) 統合・複合化による市役所本庁舎西棟の整備

公共施設の質と量の最適化や防災機能の強化を図る観点から、**市役所本庁舎西棟の市民交流機能に、市民会館の機能**（近隣利用者向け会議室機能など）と、**敬老センターの機能**、そして**中央学習センター機能との統合・複合化**について検討します。今後は、『**新しい西棟**』として調査検討を進め、早期の完成を目指します。

(2) 消防本部・福島消防署

耐震性が十分でない現在の施設状況や、昨今の災害発生状況などから、**再整備にあたっては単独設置を基本に**検討します。

◆その他の施設

(1) 図書館本館

他施設との複合化の可能性を考えた場合、他施設の整備スケジュールとの調整を図る必要性があることから、**福島駅前周辺または現在地周辺などの設置場所も含めた新しい図書館の基本的な方向性やコンセプト**をできるだけ早期につくります。

(2) 中心市街地の他の公共施設

建物の老朽化の状況から、長期的な維持が期待される施設や、文化財・歴史的建造物などの保持が求められる施設については、**予防保全や長寿命化に取り組み**ながら、さらなる有効活用を図り、適宜、再整備を検討します。

(3) 福島駅新東西自由通路

福島駅周辺の回遊性や駅東西の連携などの観点から、民間事業者との連携や整備コスト等の課題を踏まえ、**中長期的に調査研究**します。

(4) サッカースタジアム

多くの検討課題があることから、引き続き**ホームタウンの機運醸成の取組を強化**するとともに、**整備のあり方**について中長期的に調査研究を行います。

◆構想の実現に向けて

本構想の実現に向けては、あらゆる工夫を講じるとともに、市議会はもとより市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、スピード感を持って、**オールふくしまの力を結集**して取り組みます。

(1) 施設整備の検討の進め方

各施設のコンセプトや具体的な規模・機能、運営のあり方などについて、市議会における議論や、施設毎に市民参加による検討委員会を設置するなど、**幅広く市民の皆様のご意見をいただきながら、スピード感を持って検討**を進めます。

(2) 公共施設の最適化と財源の確保

施設整備にあたっては、福島市公共施設等総合管理計画の基本方針を踏まえ、真に必要な機能の選択や統合・複合化を進める等、持続可能な量と質の転換により、最適化を図ります。

また、**実現に多額の費用を要する大規模プロジェクト**であるため、国・県支出金や市債の有効活用はもとより、**最大限の財源確保や市の財政状況を踏まえた歳出の平準化**に努めます。

(3) 民・産・学との連携によるまちづくり

本構想に基づく取組を進めるにあたっては、国や県との連携はもとより、**民・産・学などとの連携**を十分に図ります。

また、民間による取組や協力は重要であり、ハード整備事業だけでなく、賑わいの創出や観光都市としての魅力を高めていくソフト事業の実施についても期待します。

市としても、中心部のまちづくり関係者や幅広い市民の参加による「まちづくり懇談会」を開催し、本構想の周知を図るとともに、**民間の積極的な取組**を促します。



他自治体の類似施設整備事例等に基づく仮事業費の試算

(参考資料)

※この仮事業費等は、再編整備前の現有施設面積(市役所本庁舎西棟及び消防本部/福島消防署については仮の面積)に他自治体の施設整備実績単価等を用いて算出した参考値であり、今後の具体的な施設整備の検討によって施設面積や事業費・財源内訳に変動が生じるものです。

(単位:億円)

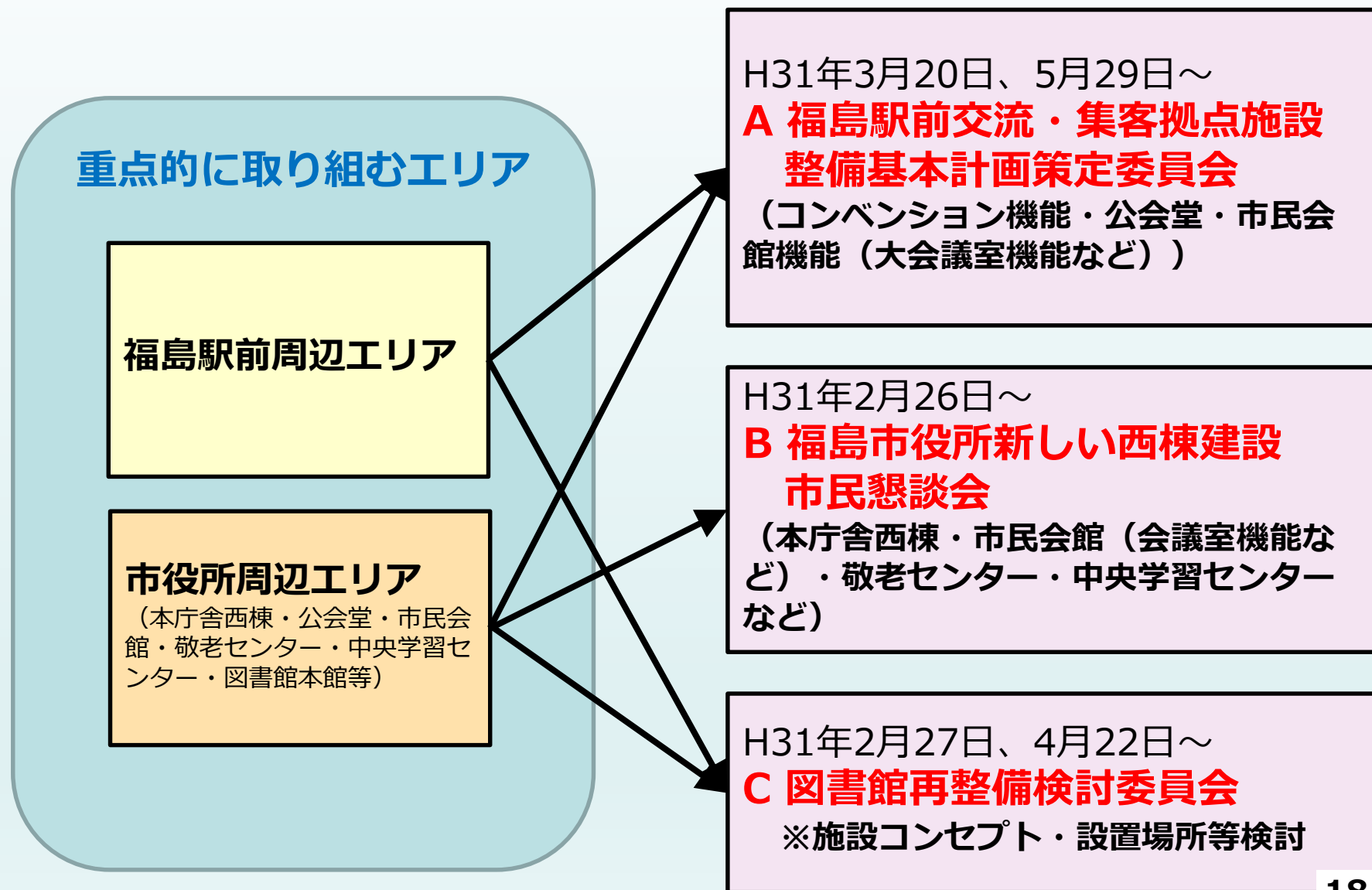
施設名	仮事業費	財源内訳			
		国・県支出金	市債	基金繰入金等	一般財源
コンベンション施設 (公会堂機能+市民会館機能)	120	※	90		30
市役所本庁舎西棟 (中央学習センター機能+市民会館機能 +敬老センター機能)	70	6	18	43	3
図書館本館	15	4	9		2
消防本部/福島消防署	30		24		6
合計	235	10	141	43	41

※コンベンション施設について、国・県補助金等の積極的な活用を検討して参ります。

その他 留意事項

- ・仮に市役所本庁舎西棟に立体駐車場を整備する場合、別途約5億円程度の仮事業費が見込まれる。
- ・老朽4施設及び消防本部/福島消防署の既存建物除却費用として、別途約10億円程度の仮事業費が見込まれる。
- ・老朽4施設及び消防本部/福島消防署跡地の土地売却収入額は試算していない。
- ・福島駅東口地区市街地再開発事業への補助金(補助対象事業費(共用部など)の2/3(国・県・市))が見込まれる。

② 「まちづくり構想」策定後の取組みについて



A 福島駅前交流・集客拠点施設整備基本計画策定委員会

(コンベンション機能として公会堂・市民会館機能を再開発と連携)

検討委員
開 催

公募委員2名を含む13名（学識経験者、各種団体）
第1回 H31年3月20日

- ①委員会の目的・役割
- ②風格ある県都を目指すまちづくり構想
- ③福島駅前交流・集客拠点施設
- ④公共施設の戦略的再編整備検討委員会
における議論の経過
- ⑤駅東口地区市街地再開発事業（仮称）について

第2回 R1年5月29日

- ①第1回委員会の振り返り
- ②施設コンセプト（案）
- ③施設の基本的な方向性（案）
- ④施設の機能・規模

今後の予定 第3回 R1年7月16日予定

- ①基本構想（案）の検討

第4回 R1年9月下旬予定

第5回 R1年10月下旬予定

B 福島市役所新しい西棟建設市民懇談会

(本庁舎西棟・市民会館・敬老センター・中央学習センターなどを複合化)

検討委員
開催

公募委員 2 名を含む 17 名 (学識経験者、各種団体)
第 1 回 H31 年 2 月 26 日

- ① 新庁舎建設事業 (東西棟) のこれまでの経過
- ② 「風格ある県都を目指すまちづくり構想」
- ③ 懇談会の役割について
- ④ 市民交流機能に関すること
- ⑤ 複合化整備を検討中の各施設現況について
- ⑥ 中心市街地内の類似施設の状況について
- ⑦ 今後の進め方
 コンセプト
 市民アンケートの実施

今後の予定

第 2 回 R1 年 7 月 予定

※R1 年度中に懇談会を 3 回及び先進地視察を実施予定

C 図書館再整備検討委員会

検討委員
開催

公募委員 2 名を含む 1 2 名（学識経験者、各種団体）

第 1 回 H31 年 2 月 27 日

（1）図書館整備の進め方について

- ①「風格ある県都を目指すまちづくり構想」
- ②再整備検討委員会の役割とスケジュール
- ③図書館の現況
- ④市民・利用者アンケートの実施

（2）新しい図書館のあり方について

第 2 回 H31 年 4 月 22 日

- ①アンケートの結果
- ②新しい図書館本館整備にあたっての基本的な考え方
- ③新しい図書館本館の望ましい立地条件について

今後の予定

第 3 回 R1 年 7 月 予定

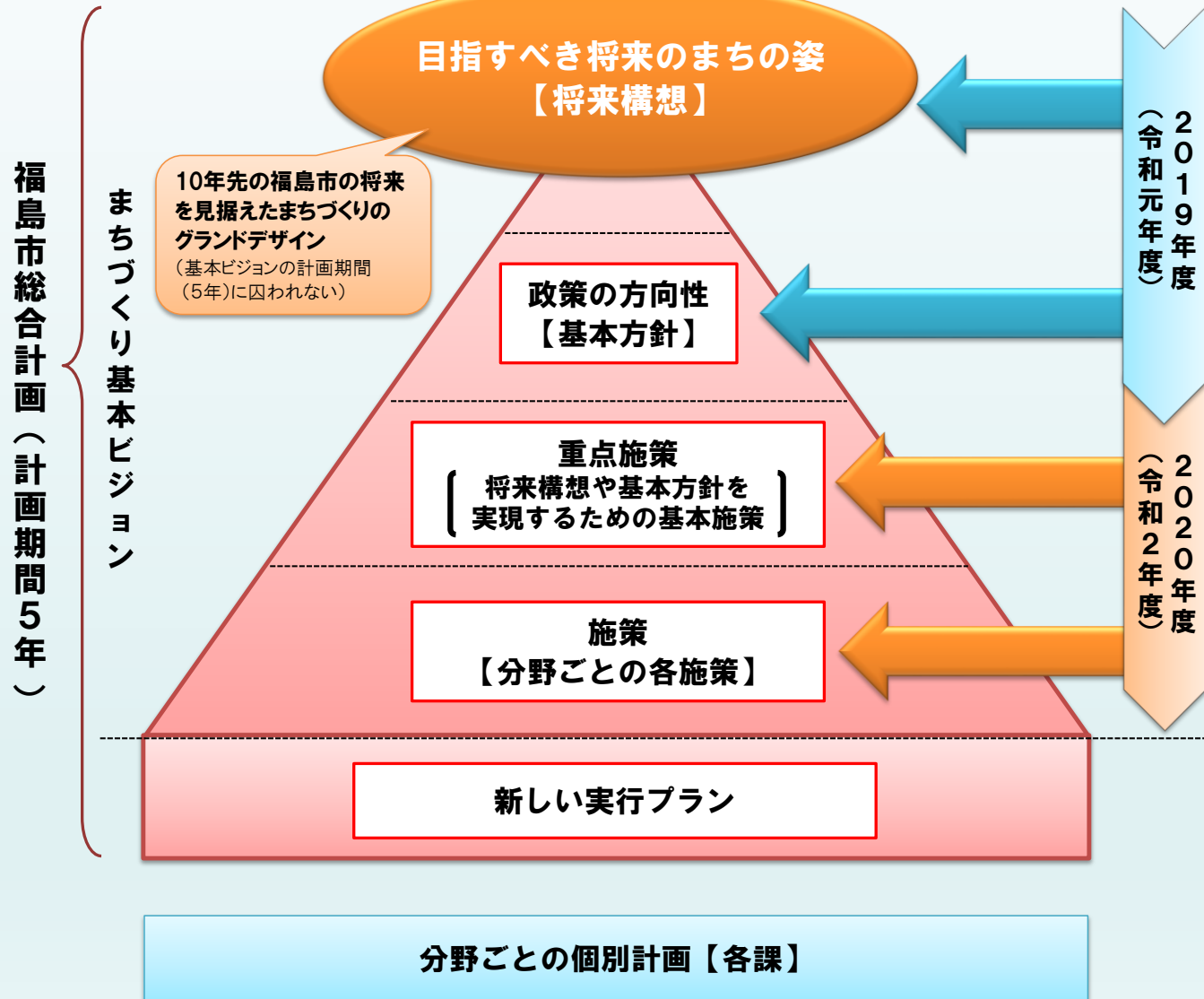
- ①先進地視察予定

第 4 回 R1 年 8 月 予定

- ①基本的な考え方（案）のまとめ
- ②望ましい立地条件について（案）のまとめ

③ 第6次福島市総合計画の構成と策定推進体制

【総合計画の構成】



【推進体制】



【推進体制図】

2019年度(令和元年度)

2020年度(令和2年度)

市民

総合計画Yu-Me(ゆめ)会議(市民ワークショップ)

【Yu-Me(ゆめ): you_make_together(ユ-メイクトゲザー、あなたと一緒に作る)、夢や希望のもてるまちにする総合計画】

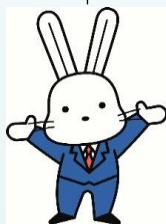
…学生や無作為抽出、公募による市民等で構成(100名)し、対話により多様な意見を出し合う。

市民参画アドバイザーは対話しやすい場となるよう、進行やコーディネートを担当。

市民参画
アドバイザー

【2019年度:6/22、7/27、8/10、9/7、10/12 土曜日】

○「将来どのような福島市になると良いか?」、「福島市の強みや弱みは?」など、各ワークショップのテーマに応じた対話を通して意見(キーワード)などを出し合います。



【2020年度】

○「どのような取り組みをすると目指す姿に近づくか?」、「力を入れていくべき取り組みは?」など、各ワークショップのテーマに応じた対話を通して総合計画の案をより良いものに仕上げます。

有識者

ふくしま新ステージ有識者懇談会

【震災から10年、「その先」へ向けて県都福島市が目指す姿を描く総合計画】

…経済や産業、報道などの各界の代表等で構成(13名)し、専門的な知見から議論。

【2019年度】

○市が本市の現状や課題などの情報を提供し、意見を収集します。
○策定委員会や有識者懇談会の内容をフィードバックします。

【2019年度】

○本市が目指すべき将来のまちの姿(将来構想)や政策の方向性など、総合計画の根幹となる部分を中心に議論し、助言や提言を行います。

【2020年度】

○本市が目指すべき将来のまちの姿(将来構想)などを実現するための重点施策や施策の方針などを中心に議論し、助言や提言を行います。

【2020年度】

○市が目指すべき将来の姿や政策の柱などの情報を提供し、意見を収集します。
○策定委員会や有識者懇談会の内容をフィードバックします。

【2019年度～2020年度】

○市がYu-Me(ゆめ)会議の意見などを踏まえて作成した総合計画素案などを提示し、意見を伺います。

行政

総合計画策定委員会・幹事会・ワーキンググループ(庁内組織)

…Yu-Me(ゆめ)会議や有識者懇談会の意見などを踏まえ、総合計画の原案を策定。

④ 第3期中活計画策定の取組みについて

・ 現在、2期中活計画を推進しているが、さらなる中心市街地の活性化やまちづくり構想の具現化に向け、今後3期計画を策定する。

・ 3期計画策定スケジュール（想定）

年度（西暦）	第2期 認定期間（5年）					中活認定手続き	第3期 認定期間（5年）予定					
	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	31/1 (2019)		2 (2020)	3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)	7 (2025)
中活（2期）	5年					東京オリンピック・パラリンピック開催						
	内閣府との協議により1年延期し6年に変更											
中活（3期）					内閣府（協議）		5年					
					委託及びWGIにより協議							
都市再生整備計画	6年											
① 医大新学部 (優良建築物等整備整備事業)					4年							
② 市街地再開発事業							予定					
③ 新浜町地区 (優良建築物等整備整備事業)							3年					
④ 情報板、ソフト事業												
⑤ 新庁舎西棟 (暮らし・賑わい再生事業)							予定					

⑤ 福島駅周辺シティドレッシングなどについて

基本方針

2020年に迫った東京オリンピック・パラリンピックに向けて、福島市に訪れるお客様に「驚き」と「感動」を与え、同時に、「おもてなし」と「福島らしさ」を演出する。



福島駅をキャンパスとして、福島市を代表する、自然、温泉、祭りなどの観光資源によるラッピングを行う。



福島市を代表する自然・祭り・観光名所をPR



あづま総合運動公園



磐梯吾妻スカイライン



高湯温泉



くだもの(写真:もも)



花見山



信夫山

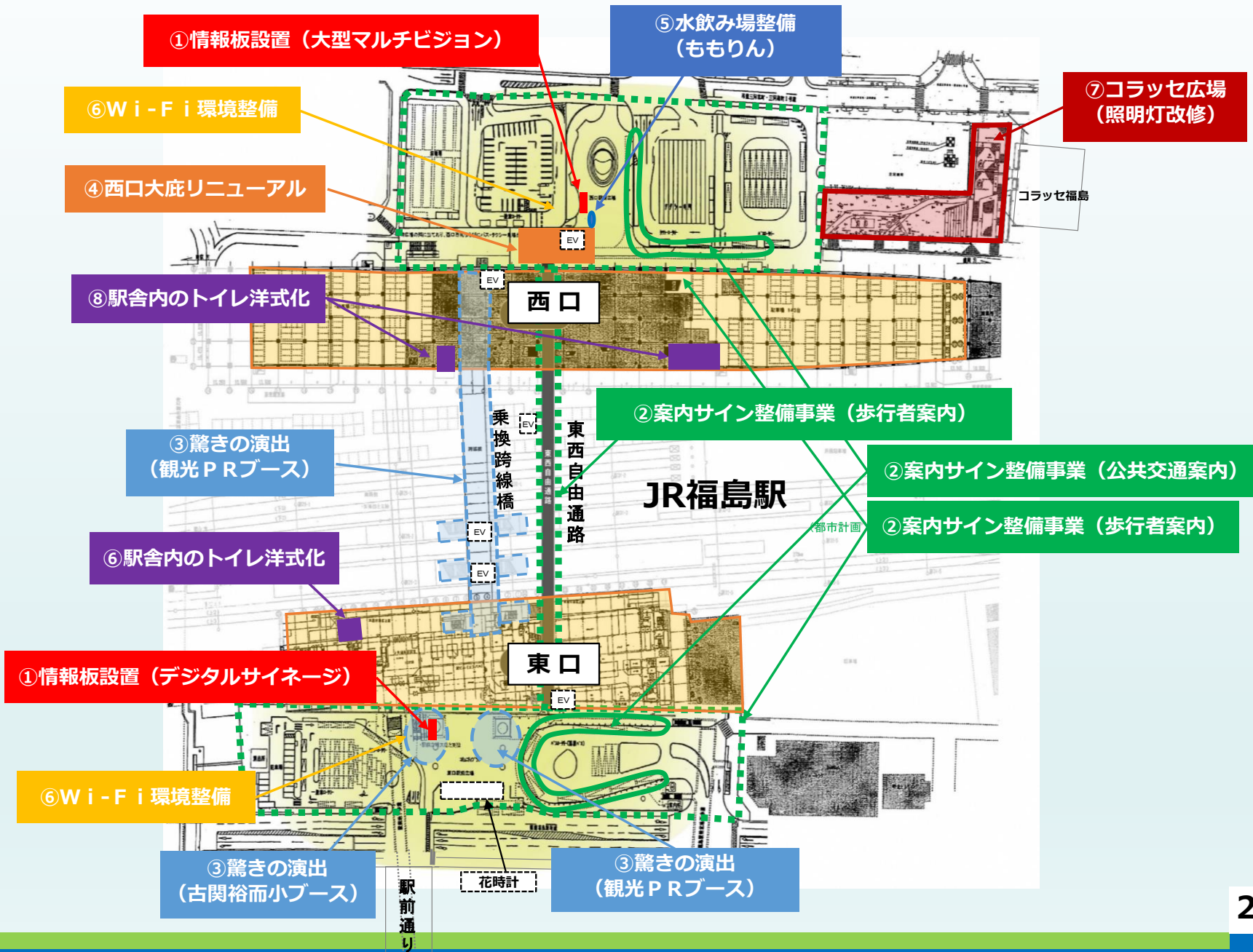


お祭り(写真:山車祭り)



飯坂温泉

・福島駅周辺における現在の事業状況



福島駅東口（事業展開イメージ）

※関係機関と協議中

①情報板設置（デジタルサイネージ）



②案内サイン整備事業（公共交通案内）



②案内サイン整備事業（歩行者案内）



③驚きの演出（古関裕而小ブース）



③驚きの演出（観光PRブース）



③驚きの演出（観光PRブース）



福島駅西口（事業展開イメージ）

※関係機関と協議中

①情報板設置（大型マルチビジョン）



②案内サイン整備事業（公共交通案内）



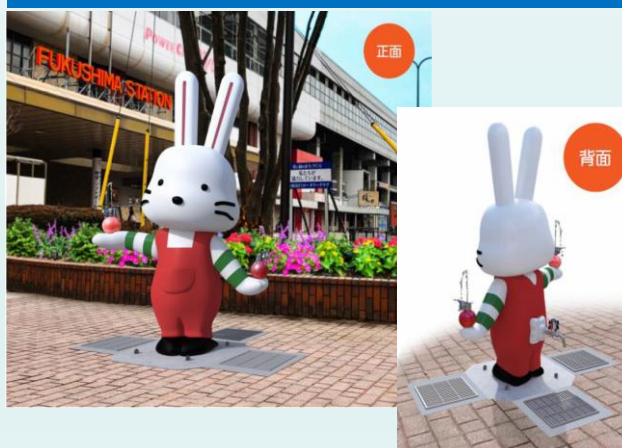
②案内サイン整備事業（歩行者案内）



④西口大庇リニューアル



⑤水飲み場整備（ももりん）



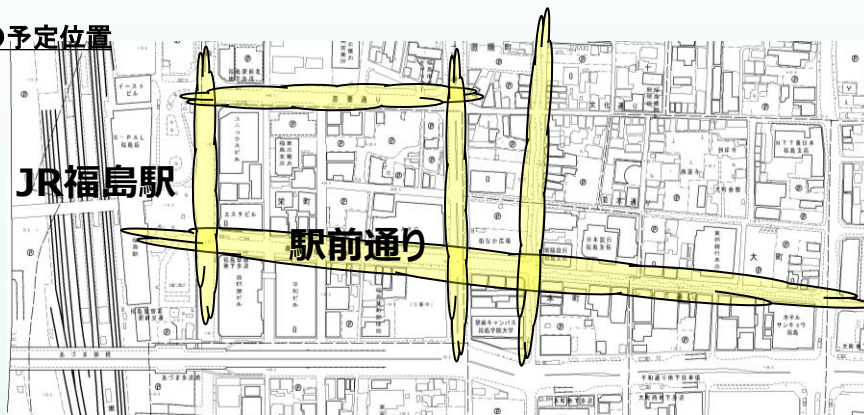
⑥Wi-Fi環境整備

⑦コラッセ広場（照明灯改修）

⑧駅舎内のトイレ洋式化

東京2020オリンピック・パラリンピック関係

●予定位置



●街灯パナー
・街路灯など



都市装飾によりオリンピックを盛り上げる取り組み



2020年の聖火リレー直前にドレッシングを実施しパラリンピック閉会式翌日まで装飾を設置する。
2020年3月1日(日)～
2020年9月6日(日)予定

駅前通りイメージ



・「古関裕而のまち・ふくしま」

【目的】

連続テレビ小説放映を機に、古関裕而氏が生まれたまちとして、音楽・古関裕而氏を活かしたまちづくりや交流人口拡大の取組みを官民協働で推進する。



「古関裕而のまち・ふくしま」シンフォニー

※官民協働による協議会を立ち上げ事業を展開

①古関裕而氏や氏の功績を活かしたまちづくり

市や民間オフィスなどによる古関メロディーの活用、市やメディアによる企画展等の開催、学校・幼児教育における古関素材の導入など

②「古関裕而のまち・ふくしま」のまちづくり

市オリジナルロゴの作成と活用、古関裕而ゆかりの地マップ、古関メロディバス（仮称）の導入など

③古関レガシーを活かした新たな文化・観光振興

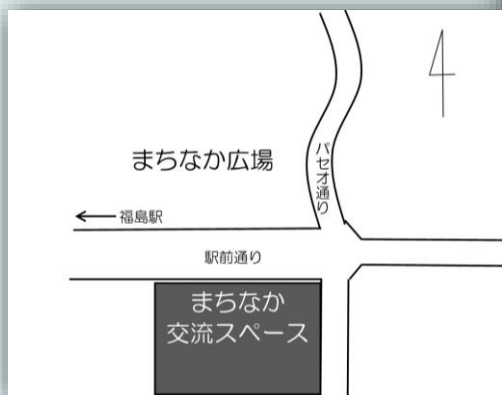
ロケツーリズムやフィルムコミッションの推進、古関氏を縁とした都市間交流など

・ まちなか交流スペース（ウィズもとまち1階）

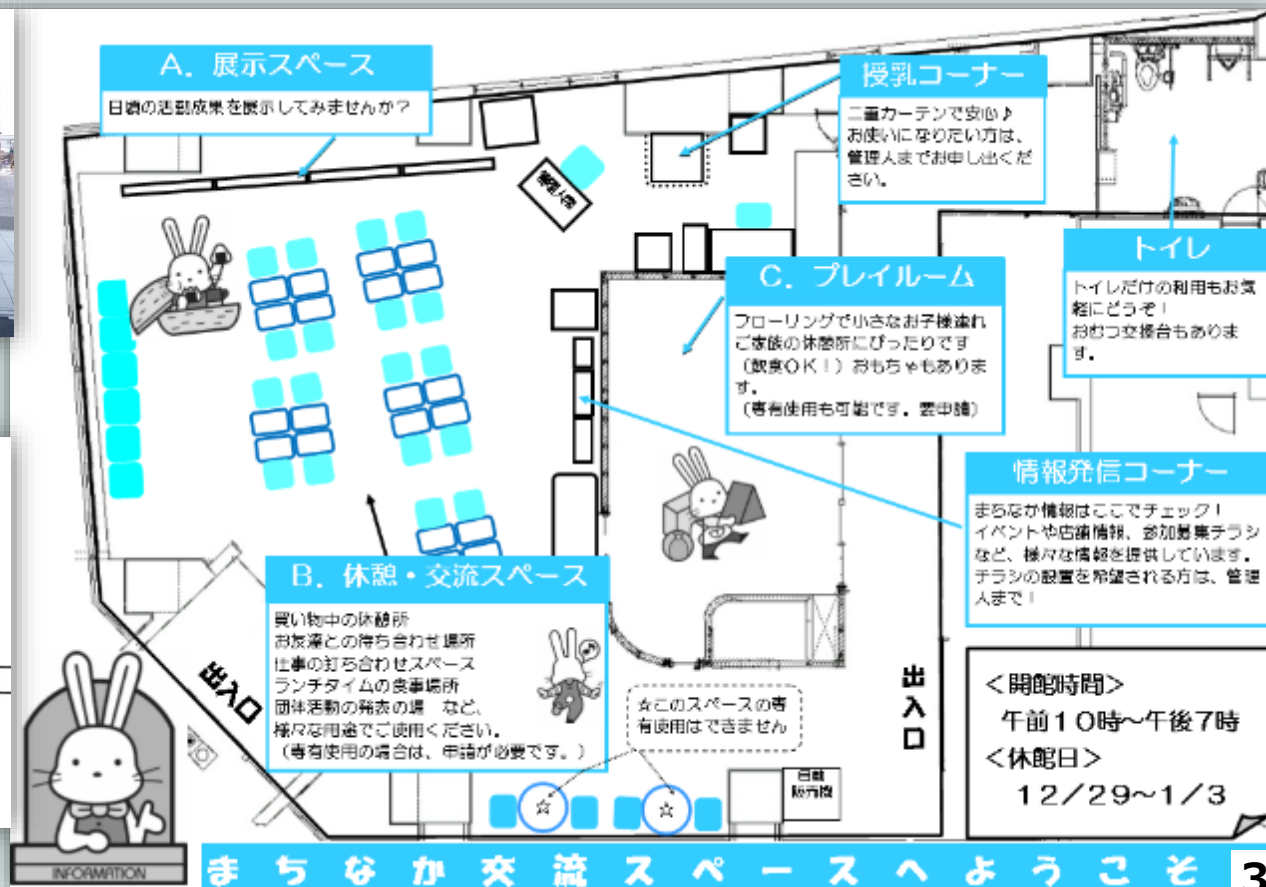
市民活動団体、ボランティア団体、学生等の**情報発信・交流・活動拠点**とする
とともに、買い物などで中心市街地を訪れる一般の方には**休憩スペース**として開
放し、**市民に親しまれる施設**として、リニューアル整備し**5月25日にオープン**
しました。



外観写真



位置図



・まちなか広場の整備について

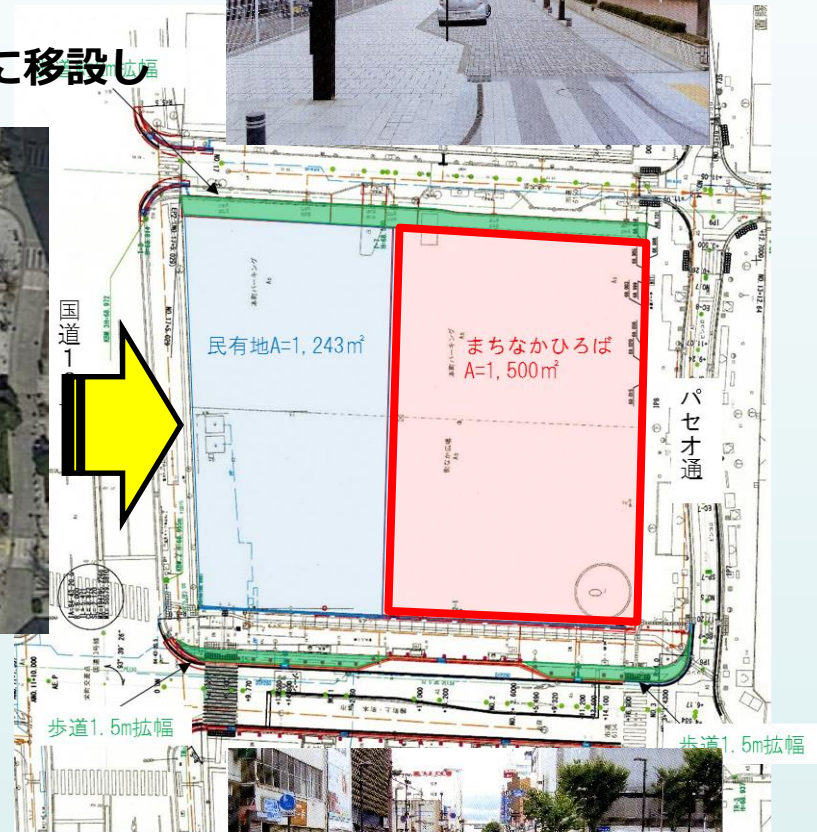
区画整理事業を完了するため、地下構造物の取壊しを行っています。

「まちなか広場」は、整備後パセオ通り側、東側に移設します。

駅前通りと並木通りの
美装化工事を年度内
に実施します。

駅前通りは、駅前通
りと同様な整備します。

並木通りは、パセオ
通りと一体化した整備
します。



【今後の「新まちなか広場」の整備】

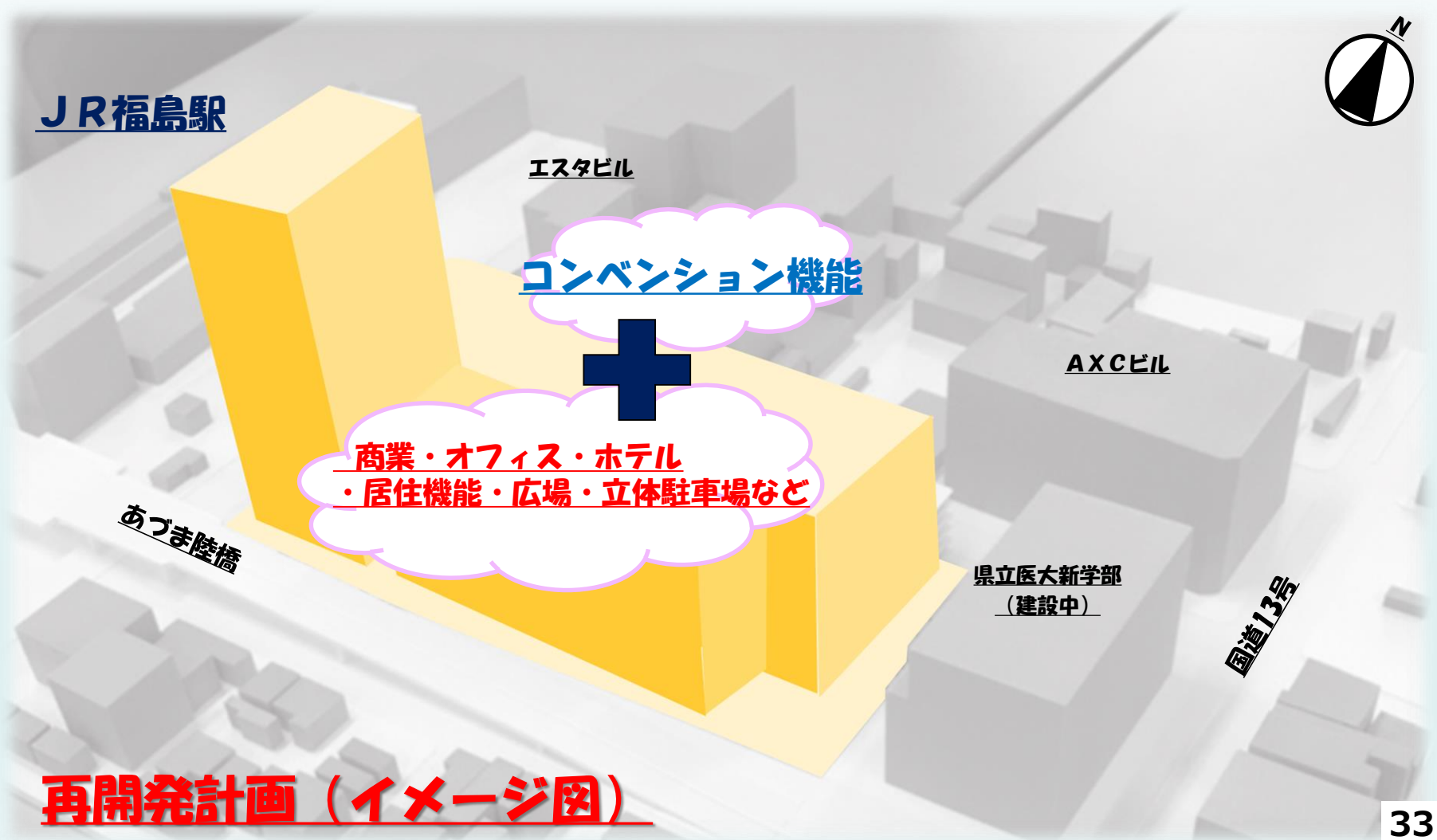
当面、**暫定的に整備を行い、これまで同様に利用**します。

一方、**新まちなか広場市民ワークショップ**を設置し、

「新まちなか広場」整備に向けて、愛される広場となるよう
市民の皆様と一緒に検討します。



(2) 福島駅東口地区市街地再開発事業の概要について



【準備組合の概要】

名 称	福島駅東口市街地再開発準備組合
住 所	福島県福島市大町 7 - 2 5 アクティ大町ビル
設 立 日	平成 3 0 年 4 月 2 日
理 事 長	塚原 洋一（有限会社 大野屋 代表取締役社長）
組 合 員	1 0 名（計画区域内の地権者は 1 2 名）
事業協力者	野村不動産 株式会社

※ 平成31年4月末現在、地権者12名に対し組合員は10名。残り2名は今後加入する意向を確認済み。

【当再開発事業の位置】



■ 開発のコンセプト

官民共創による「県都ふくしま」にふさわしい
『持続性のあるにぎわい』拠点づくり
～ 南東北の交通結節点と駅前立地を生かした
広域交流空間の形成 ～

■ 実現に向けた4つの共創空間

共創空間 1
『にぎわい空間』
～商業機能～

共創空間 2
『つどい空間』
～コンベンション・ホテル
機能～

共創空間 3
『いこい空間』
～広場機能～

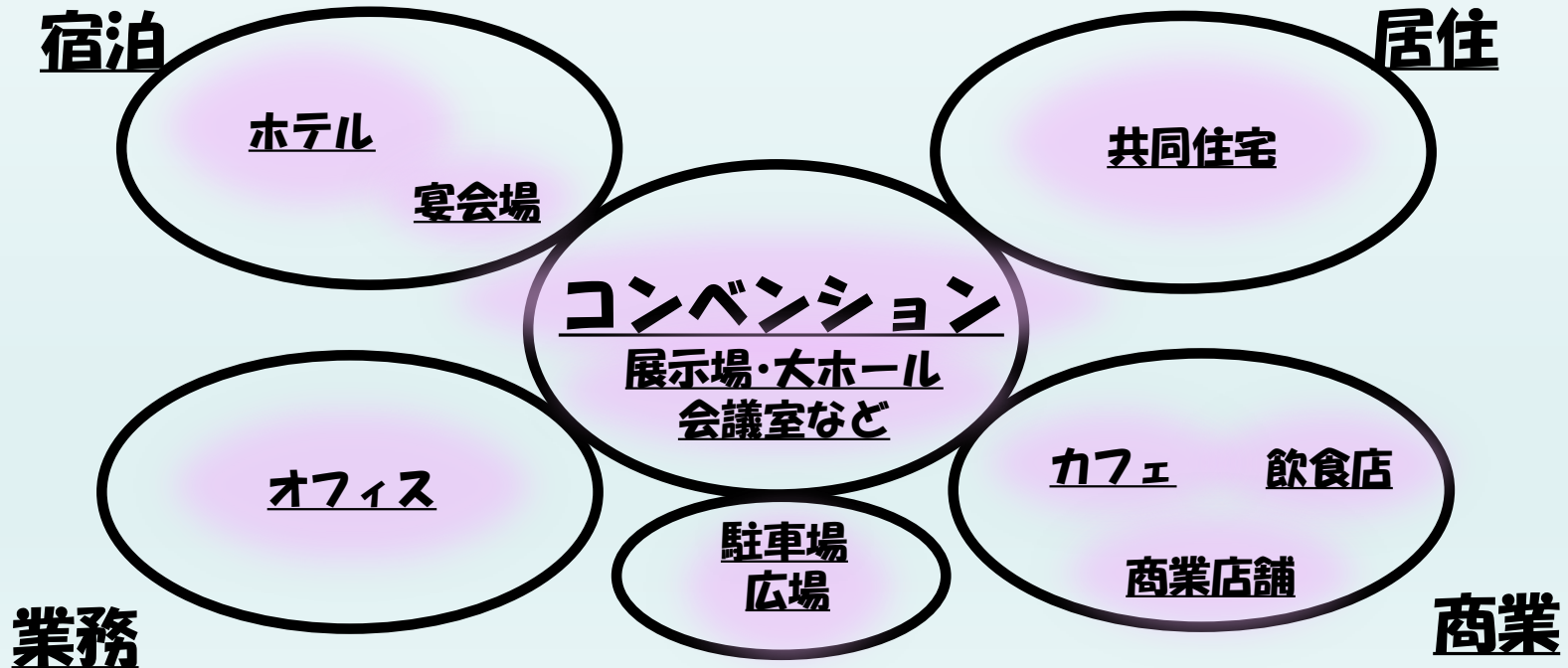
共創空間 4
『すまい空間』
～住居機能～

複合用途開発による相互連携・相乗効果・回遊性強化

【施設計画（※現時点での構想）】

- 【敷地面積】 約12,700㎡（商業地域、防火地域）
- 【規模】 延床面積 約84,000㎡
高さ 約90m（18階建）
- 【主要用途】 商業、業務（オフィス）、ホテル（バンケット機能付）
公益的施設（コンベンションホールなど）
住居（分譲マンション、賃貸マンション）
立体駐車場（自走式）

【施設の主な機能】



施設整備の例

商業機能



コンベンション機能



広場機能



居住機能



ホテル機能



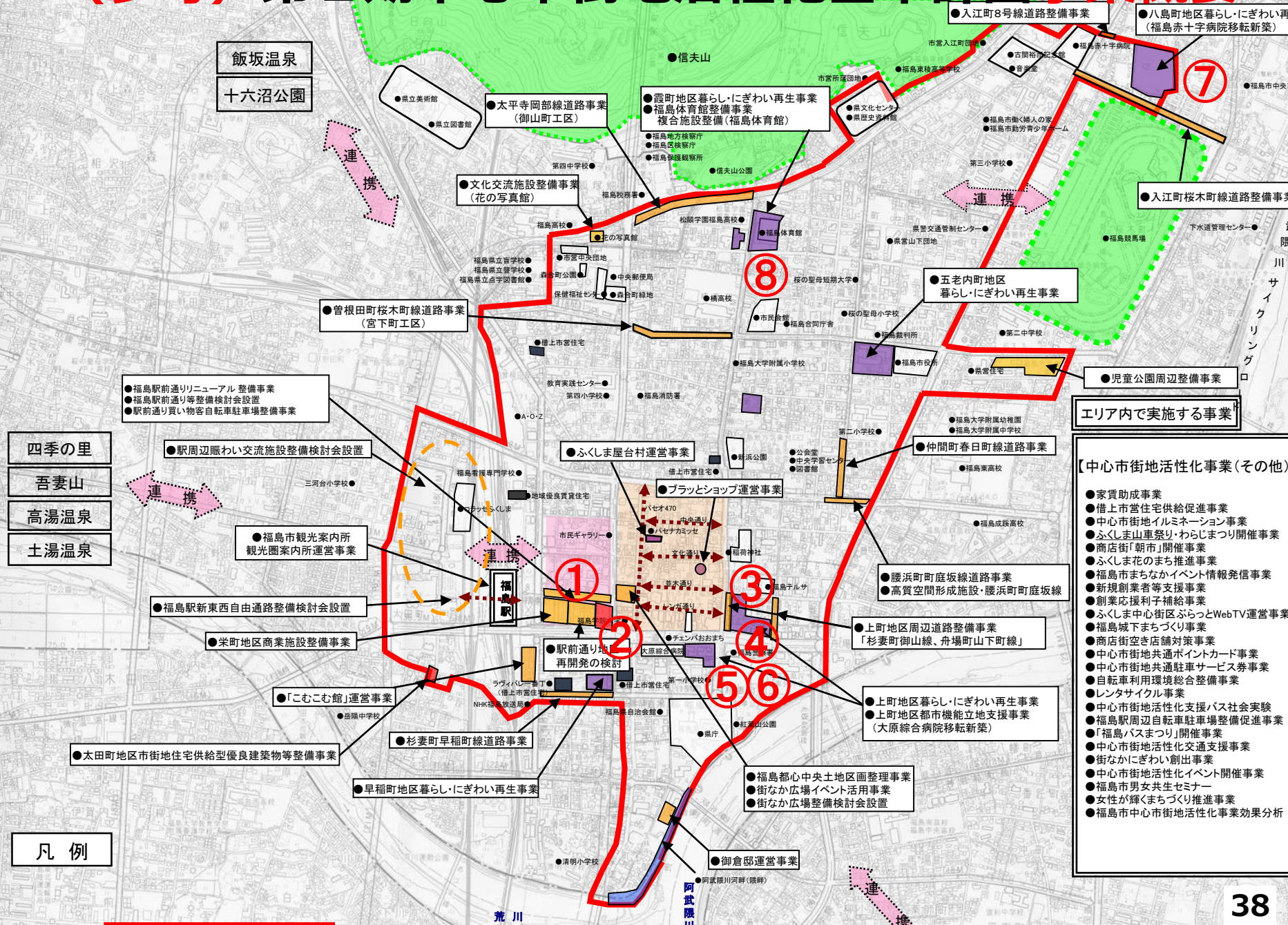
駐車場機能



オフィス機能



(参考) 第2期中心市街地活性化基本計画事業概要



飯坂温泉
十六沼公園

四季の里
吾妻山
高湯温泉
土湯温泉

凡例

- エリア内で実施する事業**
- 【中心市街地活性化事業(その他)】**
- 家賃助成事業
 - 借上り営住宅供給促進事業
 - 中心市街地イルミネーション事業
 - ふくしま山車祭り・わらじまつり開催事業
 - 商店街「朝市」開催事業
 - ふくしま花のまち推進事業
 - 福島市まちなかイベント情報発信事業
 - 新規創業者等支援事業
 - 創業応援利子補給事業
 - ふくしま中心街区ぶらっとWebTV運営事業
 - 福島城下まちづくり事業
 - 商店街空き店舗対策事業
 - 中心市街地共通ポイントカード事業
 - 中心市街地共通駐車サービス券事業
 - 自転車利用環境総合整備事業
 - レンタサイクル事業
 - 中心市街地活性化支援バス社会実験
 - 福島駅周辺自転車駐車場整備促進事業
 - 「福島バスマつり」開催事業
 - 中心市街地活性化交通支援事業
 - 街なかにぎわい創出事業
 - 中心市街地活性化イベント開催事業
 - 福島市男女共生セミナー
 - 女性が輝くまちづくり推進事業
 - 福島市中心市街地活性化事業効果分析

基本計画エリア(207ha)

①福島駅前通りリニューアル整備事業（完了）

○事業概要

施行者	道路美装化工事	: 福島県
	街路灯、アーケード撤去	: 駅前通り商店街振興組合
	ファサード整備	: 各店舗（組合員ほか）
施設内容	社会資本総合整備交付金	
	道路工事 L = 265m、アーケードの撤去、	
	街路灯22基、ファサード整備（協定による）	
事業年度	平成28年度～平成30年度	

【道路整備事業】



施工前



道路美装化後

【修景整備事業】

施工前



修景整備施工後



② 栄町地区都市再構築型優良建築等整備事業 (県立医大新学部：保健科学部)

○事業概要

- ★福島市が既設建物解体後、福島県へ土地を無償賃貸
- ★福島県が建物を整備し、医大が運営予定
- ★福島市は建物整備に併せ、駅前通りと連携した**オープンスペース**を整備

○基本的な考え方、組織

保健医療従事者人材の養成、卒業生の県内定着を踏まえ、
県立医科大学の新たな学部・4学科の設置を想定

学生定員 1学年145名(4学年 **580名**)

理学療法士 40名 **作業療法士** 40名

診療放射線技師 25名 **臨床検査技師** 40名

○施設概要

敷地面積 約3,000㎡

構造・規模 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地上8階 地下1階

延べ面積 約18,000㎡

○スケジュール

基本実施設計 平成28年度～平成29年度

建設工事 平成30年度～平成32年度

開 設 **令和3年4月予定**



オープンスペース



福島県立医科大学新学部イメージパース



エントランスホール

③ 上町地区（大原綜合病院）暮らし・にぎわい再生事業 上町地区都市機能立地支援事業（完了）

○事業概要

施行者 一般財団法人 大原記念財団 理事長 平子 健
施設内容 総合病院、立体駐車場、店舗 等
敷地面積 約6,192㎡（病院棟）約4,010㎡（立体駐車場、店舗棟）
用途地域 商業地域、防火一部準防火地域
総事業費 約180億円
新病院開院 平成30年1月1日
構造・規模

●病院棟（免震構造）

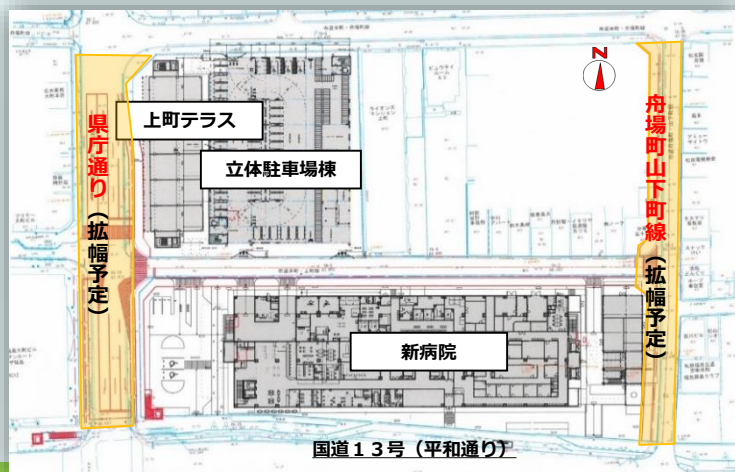
鉄骨造 地上10階建て
 約26,256㎡
 353床（現在429床）

●立体駐車場棟

鉄骨造 地上5階建て
 約11,700㎡ 約420台

●店舗棟（上町テラス：上町開発）

鉄骨造 地上4階建て
 約3,300㎡

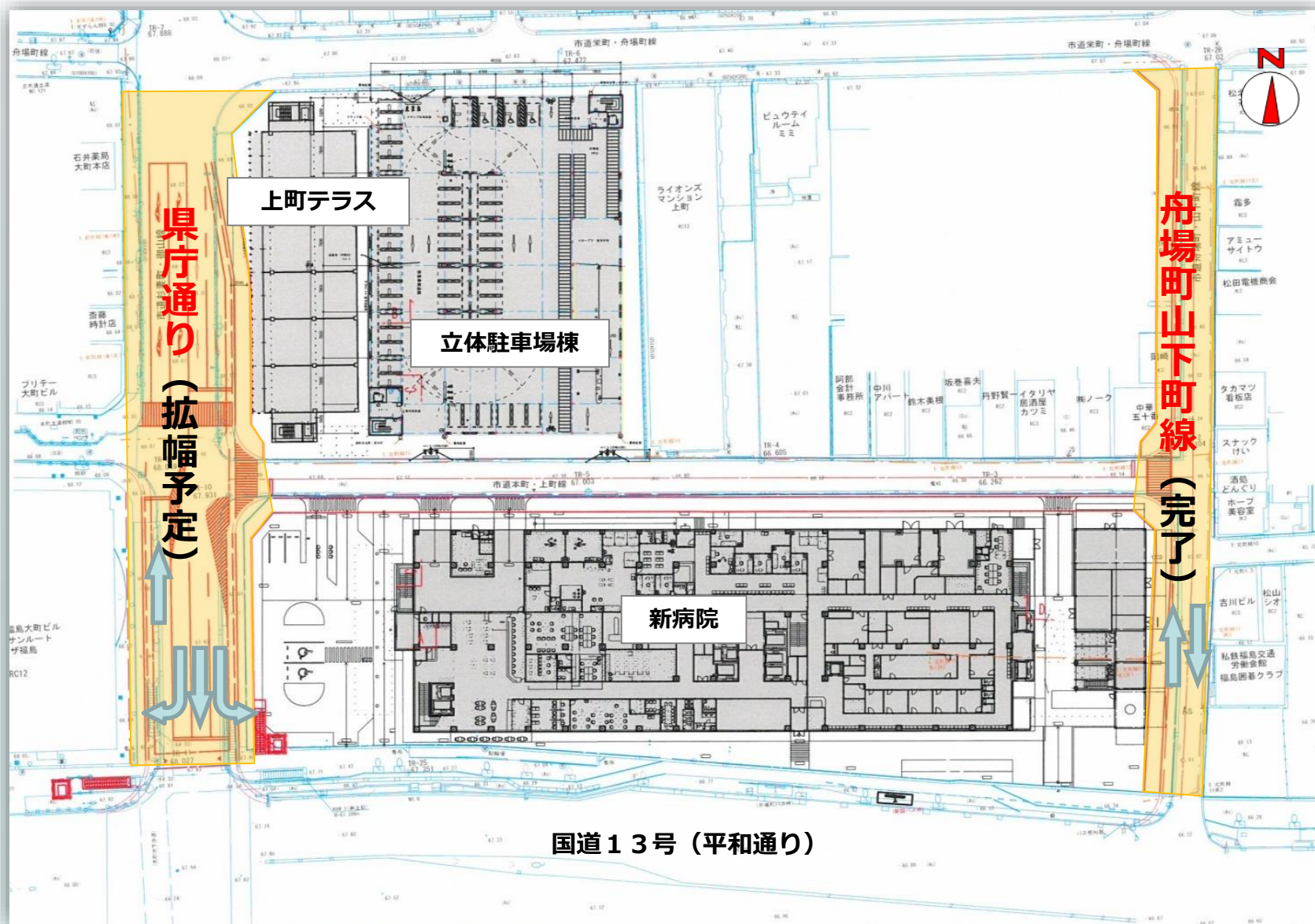


国道13号
(平和通り)

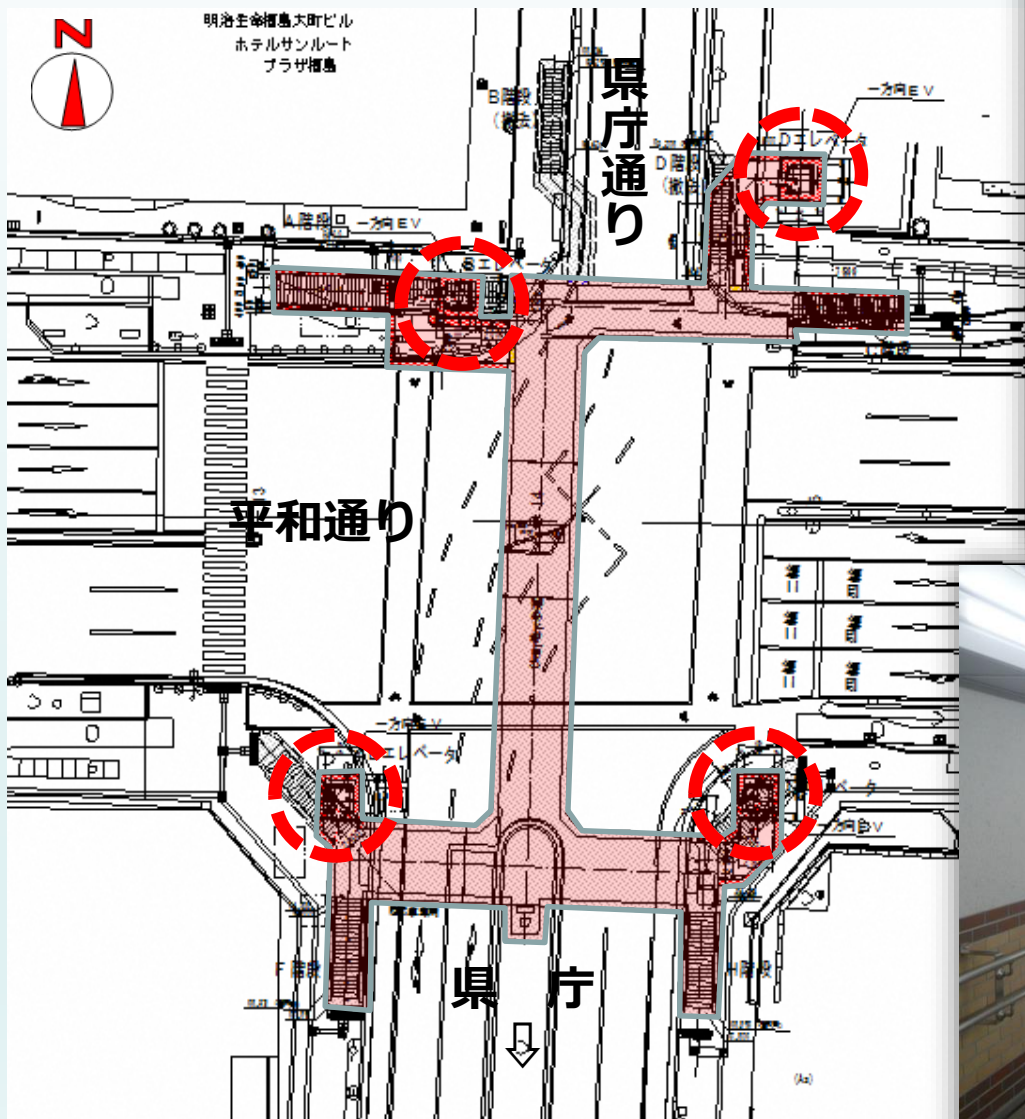
【上町テラス】 施行者 上町開発（株）

- 1階 アイン薬局、ラーメン店、ヤクルト等
- 2階 夜間急病診療所、大原ホール
- 3階 事務所
- 4階 エンゼル保育所

④ 上町地区周辺道路整備事業（現在工事中）



⑤⑥大町地下横断歩道整備事業（EV設置、地下歩道リニューアル）



EV完了



地下歩道完了

⑦八島町地区（福島赤十字病院）暮らしにぎわい再生事業（完了）

○事業概要

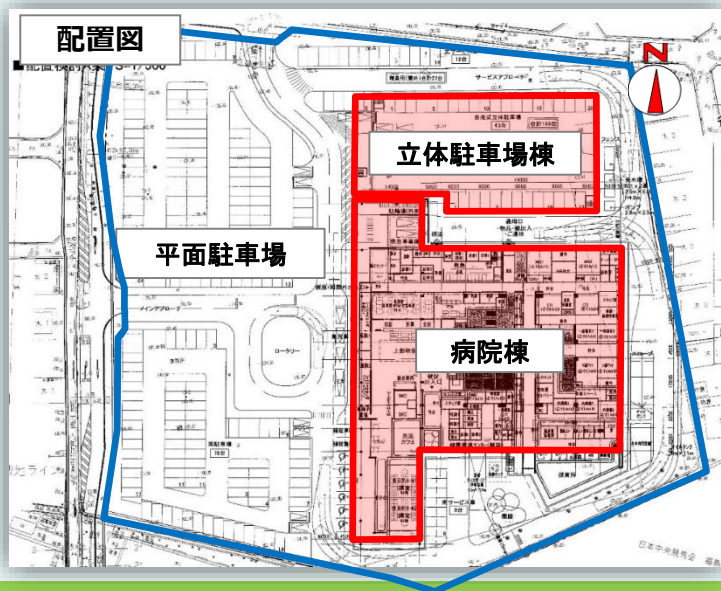
施行者 日本赤十字社 福島赤十字病院
施設内容 総合病院、立体駐車場
敷地面積 約17,740㎡
用途地域 第2種住居地域、法22条地域
構造・規模 **病院棟** 約21,000㎡
 288床（現348床）
 鉄骨造 地上7階建（免震構造）
立体駐車場 約3,200㎡
 鉄骨造2層3段
事業年度 平成26年度～平成30年度（予定）
総事業費 約124.4億円

○スケジュール

平成27年度 実施設計等
平成28年10月 建設工事着工
平成31年1月 新病院開院



福島赤十字病院（北西より）



構成図

	PH	ヘリポート	PH階
	一般病棟		7階
	一般病棟		6階
	一般病棟		5階
	事務室・リハビリ室		4階
立体駐車場	手術ホール・治療室		3階
立体駐車場	外来・診療・検査		2階
平面駐車場	MRI・健診センター救急・売店		1階

⑧霞町地区（福島体育館）暮らしにぎわい再生事業（完了）

○事業概要

施行者 福島市長
建物用途 体育館、会議室、多目的ホール、駐車場等
敷地面積 約10,678.5㎡
用途地域 第一種住居地域、準防火地域
構造・規模 鉄筋コンクリート造 2階建て
延べ面積 約7,507㎡
事業年度 平成27年度～平成30年度

○スケジュール

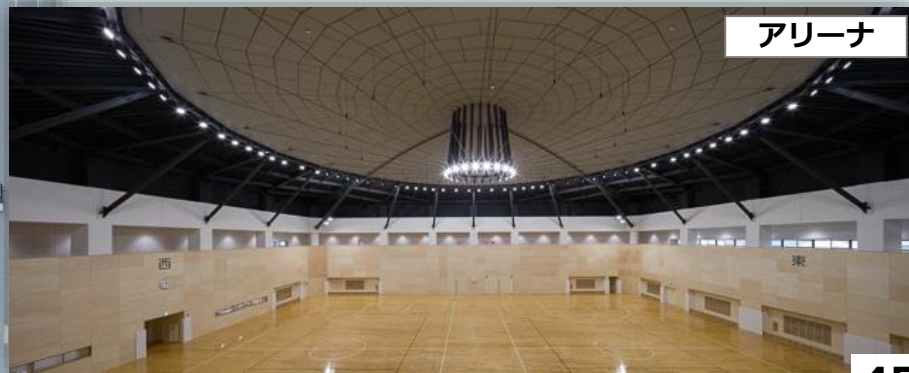
施設オープン 平成30年10月21日



福島体育館(南西より)



鳥瞰図(南西より)



アリーナ